

園だより



駿河台大学第一幼稚園

12月号



12月。今年最後の月。頑張ってきた一年を振り返りながら、新しい年を迎えるにあたっての更なる希望や期待をもつ節目としていかれたらと思います。

冬の寒さを感じるようになりましたが、幼稚園の庭には菊がいたるところで咲いています。園の裏で小菊が咲いたので朝のお迎え時に見えるところに置き、花の名前を知っているか年長と年中さんに尋ねたところ、なかなか正解がでてきませんでした。日頃目にしているからといって、名前を知るには、至っていなかったことを知りました。年長児が登園の支度を終えても名前を知ろうとするいろいろな姿がありました。「黄色だから、たんぽぽなんじゃない？」という年中の言葉を聞いてそうかなあと思ったようで、たんぽぽの図鑑をもってきて実際の花と見比べて違いを見つけ、たんぽぽではないと確信をもったようでした。しばらくして友達と会話を続けていた子どもが、「刺身の中にあつた花と同じ気がする」と言う言葉から「あ、お母さんが刺身についてる黄色い花のことキクって言ってた」となり、「キクだと思ふ」と！！言いに来ました。知りたいという気持ちを持続させたからこそたどり着いた話でした。知らなくてはならないことでもないですが、こうして知っていく楽しさを感じる事が大切だと感じた出来事でした。

先日参加した研修会で中学生の勉強になると、解答を見つけていくその楽しさが見つからず、成績がふるわなくなるという話を聞き、自園の菊の名前のことを思い出しました。

学びに向かう姿勢・知的好奇心・目に見えないことをイメージして楽しむ力・創造の中で見つけたことを喜ぶ力・粘り強く目の前のことに関心を寄せ続ける力・どうせできないとあきらめる悪循環にならない思考等々が必要であり、幼児教育において育むべき内容とつながるとのお話でした。

『知る』ということを楽しむための土台作りをしていきたい思います。



グッピーがやってきた！